

No. 1101

V2めざして

— 中日ドラゴンズ —

小山球団社長の激励をうけて中日ドラゴンズは、2月8日から浜松市営球場で本格的なキャンプに入った。チームの和をモットウに去年、念願の優勝を果たしたドラゴンズ、今年も、V2めざして足並そろったスタートだ。つめかけた大勢のファンの見守る中で特訓は続く。2月11日から甲子園のヒーロー銚子商業の土屋選手もキャンプに合流、柔軟体操に汗を流す。

足をきたえようと裸足の谷沢選手。三割バッターめざして打撃訓練に励む。今年も、首位打者争いに加わりたいたと木俣。去年の不調をとりもどし、V2打線の要になりたいと徳武コーチの特訓を受ける島谷。

今年活躍が期待される堂上に与那峰監督自らバントの作法をたんねんに教え込む。優勝への足がかりは何といてもピッチャーだ。今年も期待される松本。近藤ピッチングコーチの見守る中で鈴木(孝)もノーwindピッチングの練習。土屋もマウンドに立つ日を夢みて投球練習を続ける。

攻守にリーダーとして活躍した高木(守)、木俣。V2めざして中日ドラゴンズは全ナイン一丸となって特訓に励む。

425列車同乗記

「多くの仲間たちがこの425列車を愛しています。今、この列車を残してほしいと言う声が各地で起っています……」

2月14日、東京国鉄本社前で中央線ドン行夜行列車、425列車を客車で残させようという集会が開かれた。

午後11時55分の新宿発長野行き南アルプス八ヶ岳を訪れる山好きによく知られた425列車。全国でも数少ない各駅停車の客車列車、いまこの列車は3月10日のダイヤ改正で姿を消そうとしている。11時55分、満員の425列車は新宿駅を定刻にスタートした。0時55分、高尾駅を出るころには列車の揺れにリズムをとりながら寝息をたてる人もちらほら……。

しかし、あるパーティーは酒が少し回ってきたのか、宴会が始まった。映画“寅さん”のものまねで爆笑を誘うある若者。

甲府駅の停車時間は19分。列車から降りてソバを食べる人や列車を撮影する人がホームにいっぱい。

諏訪駅あたりで夜明け、車窓からは美しい雪景色が見られます。午前10時長野駅に到着、電車化によるスピードアップか、それとも郷愁か、数々の話題を残して425列車10時間の旅は終わった。